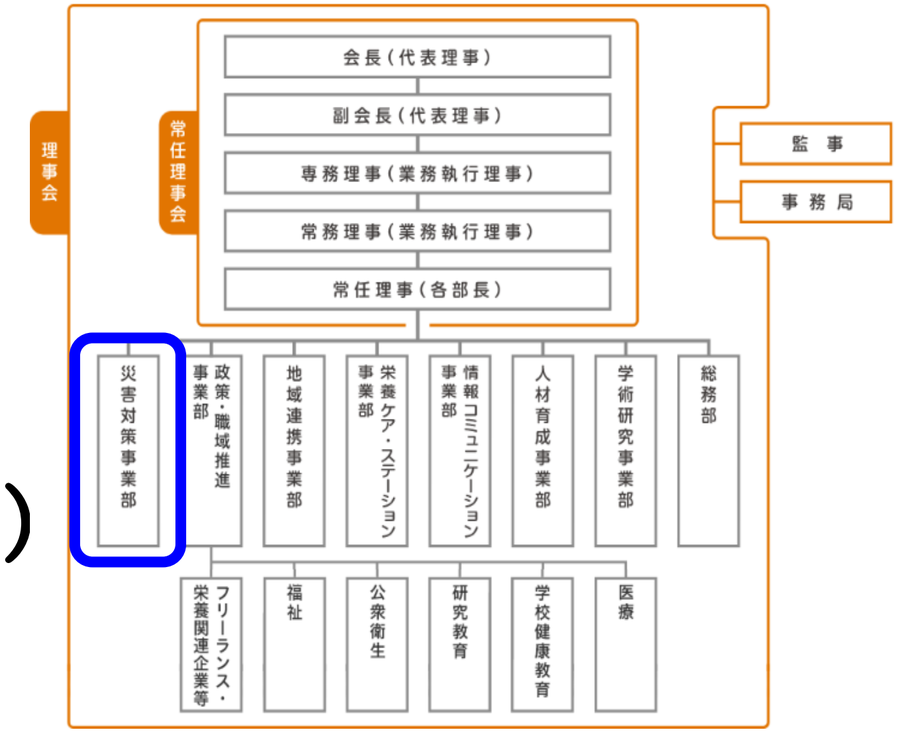
JDA-DAT岡山活動報告

チーム名（公社）日本栄養士会災害支援チーム
（JDA-DAT）
所属機関：（公社）日本栄養士会
（（公社）岡山県栄養士会）
発表者名：光畑和美
活動期間：2026年8月22日～24日
活動地域：熊本県八代市

【活動チームの概要】

●編成：管理栄養士・栄養士

●資格：（公社）日本栄養士会
災害支援チーム（JDA-DAT）
リーダー・スタッフ



日本栄養士会HPより

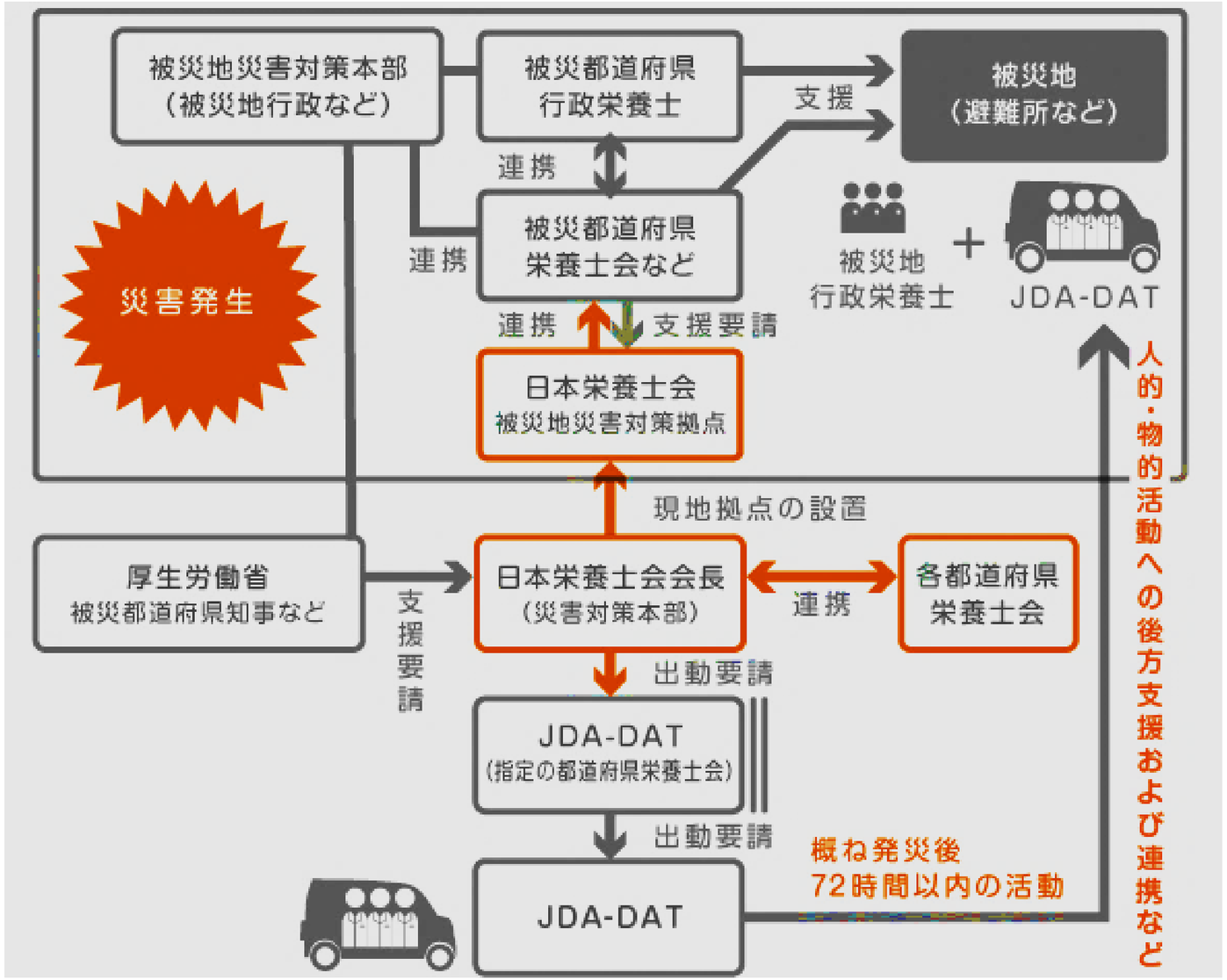
●組織での位置づけ：災害対策事業部

●受援体制との関係：災害協定締結（令和７年６月２７日付）
熊本県⇔（公社）熊本県栄養士会

【活動チームの概要】

●受援体制との関係

災害協定

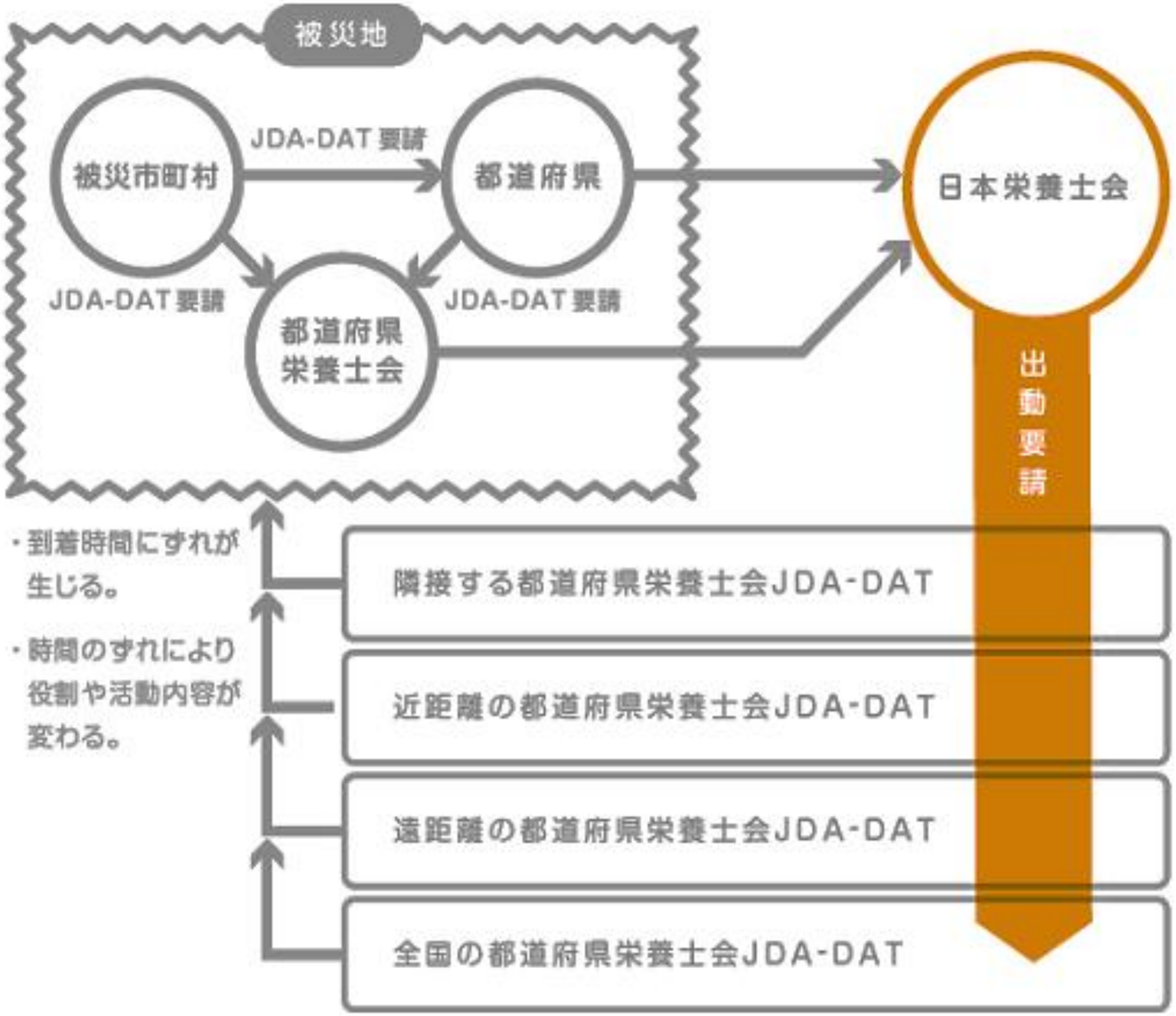


日本栄養士会HPより

【活動チームの概要】

●受援体制との関係

災害協定



日本栄養士会HPより

【活動場所】熊本県八代市



【活動エリアの特徴】
最大震度：6強

人的被害：死者２０名

生活インフラ：建物被害や上下水道及び井戸水が使用できない世帯が約４４００戸

【CSCA（指揮系統）】

派遣元

日本栄養士会
（岡山県栄養士会）

熊本県栄養士会

現　地

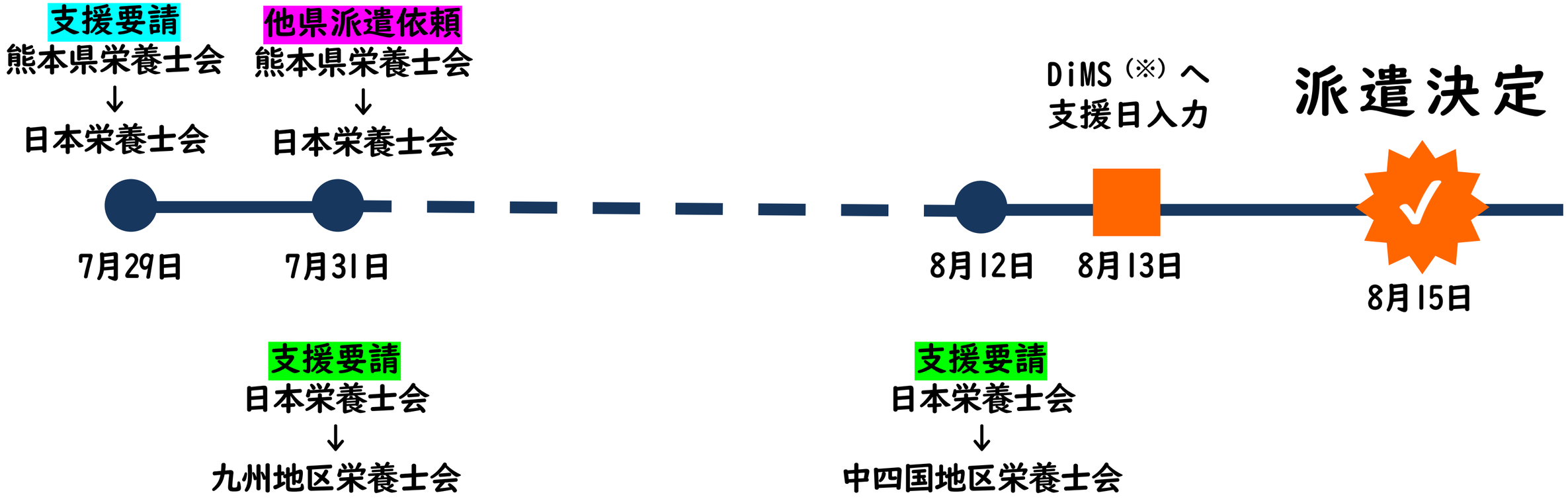
八代市栄養士

派遣行政栄養士

JDA-DAT



【派遣時期と派遣経緯】



(※)DiMS (Dietitan Matching System):災害時における迅速な人員派遣調整システム

【活動内容】


Macro
1日目
移動日（往路）・活動状況確認
2～4日目
現地活動日
5日目
移動日（復路）
Zone 3
09:00 八代市役所
活動前準備
・行政栄養士との活動前ミーティング
・特殊栄養食品等の準備
10:00 避難所
避難所巡回支援（3か所程度）
※他の支援団体等と待ち合わせて巡回する場合あり
15:00 八代市役所
報告・翌日準備
・活動報告・引継ぎ作業
・次回準備
Zone 4
巡回時の主なタスク
調査・確認
食事状況調査（聞き取り・現場確認）
非常食の確認
啓発
食生活リーフレットやポスター掲示等
個別支援
要配慮者指導等

【活動内容】

実績（件数）

巡回避難所：8か所　要配慮者フォロー：4名

（DM・HT1名、食物アレルギー1名、他2名）

エピソード

【事前情報】

80代　男性　膵臓がん・食欲低下・下痢

【内容】

既往歴：大腸がん・前立腺がん

対応：脂質・食塩の少ない食事提供等

その他：下痢が続き、食事不安大



【課題・反省点】

困ったこと、できなかったこと　⇒　課題解決方法

●被災者の「栄養士は何をしてくれるのか」の問い
　⇒　フェーズと個に応じた食生活支援能力の研鑽

●医療系支援者との『繋がり』
　⇒　声かけによる新たな支援者との繋がり

●フェーズや要望ごとの支援の在り方
　⇒　フェーズごとの支援方法の見直し

【工夫】

●事前準備

1食分の食事セット（1500kcal/食塩10g未満）
（減塩・おかゆ・パン主食用おかず・アレルギー用等）

●現地での工夫

食事摂取方法の提示
ポスター作製と掲示





●積極的な連携

避難所等に常駐する医療系支援者
への声掛け ⇒ フォローに繋がった

【活動での気付き】

具体的な提言３点（体制・訓練・備蓄・協定・ＢＣＰ等）

（１）特殊栄養食品ステーションの存在啓発
　　災害時の応用的な設置場所の検討

（２）横断的な連携体制の構築

（３）他の支援チームとの共同研修・訓練



【岡山で起きたら】

初動体制（現地支援を始めながら、ニーズ把握と支援を継続するための「人・情報・物資」の流れを整備・体制づくり）

ご清聴ありがとうございました。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

連絡先：（公社）岡山県栄養士会